

軍師 竹中半兵衛の ふる里を歩く

竹中半兵衛は、戦国を代表する軍師として知られ、信長の家臣である秀吉の参謀として、黒田官兵衛とともに“秀吉の二兵衛”と称されて活躍しました。信長に見込まれるも信長の直接の家来にはならず、秀吉の三顧の礼で迎えられた半兵衛は、手柄や出世にこだわらない人柄であったようです。その半兵衛が居を構え、慈しんだ垂井町岩手のまちに半兵衛ゆかりの地を訪ねます。(距離:約3km)



⑤八幡神社(菩提山登山入口)
禅幢寺のとなりの八幡神社に菩提山城の上り口があります。標高402メートルの菩提山の山頂に、半兵衛と父の重元が建てた菩提山城跡があります。城跡には堅堀や堀切と思われる跡が残されており、大規模な城だったことが推測できます。城跡に向かう道は「菩提山城跡ハイキングコース」として整備されており、全長2.7キロの山道沿いには四季の草花を楽しむことができます。



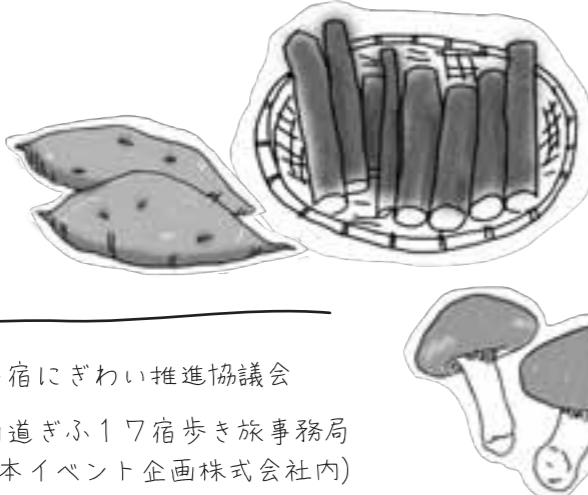
③明泉寺
竹中半兵衛重治の父、竹中重元が最初に葬られたのが明泉寺でしたが、その後、重門が禅幢寺に墓を移しました。日中戦争を批判し反戦を唱え「戦争は罪悪である」の発言で知られる反戦僧・竹中 彰元が住職を務めていたことでも知られています。



⑥不破矢足の墓
不破矢足は、竹中家の一の家臣で、幼名を弥次郎、母方の姓を用い喜多村十助直吉を名乗っていました。元龜元年(1570)の姉川の戦いに半兵衛の弟の久作の後見として参加し、足に刺さった矢をもともせず戦ったことから、その話を聞いた竹中半兵衛が矢足と命名しました。



⑧半兵衛の里
戦国時代の軍師・竹中半兵衛にちなんで名付けられた直売所です。地元産の新鮮野菜が売りで、加工品には一部仕入れた物もあり、商品の種類が豊富です。はちみつやそばも人気があり、年6回の売出日には多くの人でにぎわいます。



④禅幢寺
36歳の若さで現在の兵庫県三木市で戦中に病死した半兵衛を吊って重門が建てた墓と、重門の子の重常が寛文3年(1663)に建立した本堂が現存しています。



②竹中家陣屋跡
半兵衛の子、重門が建てたがっしりとした石垣と白壁の重厚な門が今も健在で、門の前には竹中半兵衛の銅像があります。



①葺葦(せいが)記念館
江戸の天保年間に旗本竹中氏が建てた道場で、明治以降も学校として使われていました。約100点もの竹中氏ゆかりの品を公開しており、菩提山城や陣屋の復元予想模型、当時の資料、甲冑のレプリカなどが展示してあります。



岩手小学校

JAIにしみの岩手支店

スタート・ゴール



歩き旅

企画 垂井宿にぎわい推進協議会

制作 中山道ぎふ17宿歩き旅事務局
(日本イベント企画株式会社内)